

# 一 般 質 問 発 言 通 告 書

平成20年9月定例会

蒲郡市議会

	質 問 者 (質 問 日)	要 旨
1	伊 藤 勝 美 (9月8日(月))	1 総合防災対策について (1) 緊急地震速報受信装置の公共施設配備について (2) 災害対策本部とボランティア支援本部との連携体制について (3) 避難所施設でのエコノミー症候群対策について (4) カメラ付携帯電話による災害状況報告システムの周知と運用について (5) 簡易耐震シェルターの啓発と補助について (6) 市民総ぐるみ防災訓練の冬季実施について (7) 蒲郡市水防計画の見直し検討について
2	松 本 昌 成 (9月8日(月))	1 蒲郡市の財政運営について (1) 財政指標の活用について (2) 市独自の財政規律、規範づくりについて (3) 公会計制度の取り組みについて 2 雇用促進住宅の譲渡・廃止問題について (1) 建設の経過と現状について (2) 問題に対する市の見解について (3) 譲渡の条件について (4) 優先入居について (5) 入居者のサポートについて
3	大 向 正 義 (9月8日(月))	1 蒲郡市医師会の委託費不正受給について (1) 7月10日の第1回公判「初回口頭弁論」について (2) 8月20日の第2回公判「弁論準備手続き」について (3) 愛知県健康福祉部の医師会への指導監督について (4) 精算について (5) その後の公判について

	質 問 者 (質 問 日)	要 旨
		<p>2 人間ドック運営委託事業について</p> <p>(1)平成20年度の人間ドック運営委託事業の契約について</p> <p>(2)人間ドック事業の開業以来10億円を超える累積赤字について</p> <p>(3)人間ドック事業の平成17年度定例監査について</p> <p>(4)人間ドック事業で使用している医療機器について</p> <p>(5)人間ドック事業を市の事業としている理由について</p> <p>(6)蒲郡市の人間ドックができる民間検診センターについて</p> <p>(7)市の事業としての人間ドック運営委託事業を廃止する議員立法について</p> <p>3 地域包括支援センターと地域密着型サービスについて</p> <p>(1)蒲郡市地域包括支援センター運営協議会と蒲郡市介護保険地域密着型サービス運営委員会について</p> <p>(2)地域包括支援センターと地域密着型サービスについて</p> <p>4 蒲郡市大塚デイサービスセンター及び蒲郡市三谷デイサービスセンターについて</p> <p>(1)平成20年度の指定管理者募集について</p> <p>(2)大塚及び三谷デイサービスセンターの業績と評価について</p> <p>(3)民営化について</p>
4	<p>喚 田 孝 博 (9月8日(月))</p>	<p>1 8月29日、30日の集中豪雨について</p> <p>記録的(日降水量236mm)な集中豪雨により本市においても甚大な被害が発生しました。本市では、「風水害等災害対策計画」を有し、今回もこの計画に基づいて、災害応急対策が取られたものと思いますが、その実行について、及び今後の取り組み等について質問します。</p> <p>(1)災害応急対策について</p> <p>ア 災害対策本部</p> <p>イ 災害情報等の収集・伝達</p> <p>ウ 広報活動</p> <p>エ 災害復旧</p>

	質 問 者 (質 問 日)	要 旨
		<p>( 2 ) 今後の取り組みについて</p> <p>ア 災害に対する調査、防災カルテ等の整備</p> <p>イ 浸水マップの作成</p> <p>2 設楽ダム建設について</p> <p>東三河地方においては、長年の待望でもある設楽ダムがいよいよ建設に向けて最終的的局面を迎えています。現在までの状況と今後について等を質問します。</p> <p>( 1 ) 現在までの状況と今後について</p> <p>( 2 ) 設楽ダムの必要性について</p> <p>3 障がい者歯科治療について</p> <p>障がい者の歯科治療には、多くの支障があり、治療が遅れることは健康を害することもあります。市長のマニフェストでも「障害者歯科診療所の設置」を掲げておりますが、設置についてはどの様に取り組むつもりなのか質問します。</p> <p>( 1 ) 障がい者の歯科治療の実態について</p> <p>( 2 ) 「障害者歯科診療所の設置」について</p>
5	鎌 田 篤 司 (9月8日(月))	<p>1 蒲郡市の財政課題について</p> <p>( 1 ) 財源確保について</p> <p>( 2 ) 主要財源である競艇事業の見通しについて</p> <p>2 蒲郡市の温暖化対策について</p> <p>( 1 ) 市のCO2削減計画の現状と今後の取り組みについて</p> <p>( 2 ) 愛知工科大学との官学連携について</p> <p>ア 給食センターや旅館などから出る廃食油を使ったバイオ燃料化への取り組みについて</p>
6	小 林 優 一 (9月9日(火))	<p>1 市税の滞納問題を中心とした税務行政の運営について</p> <p>( 1 ) 電子申告のシステムの導入に関する進捗度について</p> <p>( 2 ) 市民税滞納の推移について</p> <p>( 3 ) 多重債務者にかかる消費者金融業者への過払い金返還請求について</p> <p>( 4 ) 収納率の目標設定について</p>

	質問者 (質問日)	要 旨
		2 市民病院問題の情報開示と民意の集約について (1) 現状と、今後の補正(予算)について (2) 市民に情報を正確に伝え、声を聞くためのタウンミーティング、住民意向調査、住民投票について
7	竹内政住 (9月9日(火))	1 中部土地区画整理事業について (1) 事業計画変更内容について (2) 事業計画変更で進捗率が下がったが、今後の事業の進め方について (3) 都市計画道路3路線(本宿線、国道247号バイパス、蒲郡環状線)の整備について
8	飛田常年 (9月9日(火))	1 蒲郡市の農業振興について (1) 西大塚地区基盤整備事業について (2) 原油価格高騰対策と補助事業について (3) 農業と観光について
9	柴田安彦 (9月9日(火))	1 中部土地区画整理事業について (1) 事業計画の変更について 市は事業期間を2017年度までに5年間延長し、建物移転数118戸、事業費39億4,000万円を増やす事業計画の変更を行った。 ア 移転戸数を見のがしてきた原因と責任について イ 計画変更による影響について ウ 計画の見通しについて エ 説明会の開催について (2) 権利制限と事業費確保について 区画整理は、建築行為等住民の私権制限を伴う事業であり、事業の長期化は地権者の不利益を極度に増大させることになる。 ア 権利制限に対する認識と受忍の範囲について

	質 問 者 (質 問 日)	要 旨
		<p>イ 補助金の見通しについて ウ 事業期間短縮のための予算確保について</p> <p>(3) 権利者の生活確保について 事業期間が延長されることにより、家屋の老朽化や権利者の暮らしに影響がでることは避けられない。市の行うべき対策について伺う。</p> <p>ア 家屋の修繕等と補償について イ 法第76条の許可と許可条件について ウ 移転の優先順位の配慮について エ 仮換地の変更について</p> <p>2 市民病院について 住民の命と健康を守るうえで、二次医療機関として市民病院を維持することは欠かすことができない。しかし、その安定的な運営ができない状況にあることも現実である。根本的な原因の解決と当面の対策の両面からの検討が必要ではないか。</p> <p>(1) 政府の進めてきた医療費抑制策の変更を求めることについて (2) 公立病院改革ガイドラインと病院改革プランについて ア 経営効率化について イ 再編・ネットワーク化について ウ 経営形態の見直しについて</p> <p>(3) 当面の地域医療を確保するために ア 蒲郡の地域医療に必要な機能は何か。現状でできる医療と不足する医療は何か。 イ 必要な機能を確保するためには何が必要か？ ウ ウォークインの制限と夜間診療所開設について</p>
10	日恵野 佳 代 (9月9日(火))	<p>1 災害対策と消防について</p> <p>(1) 豪雨による水害、落雷による被害が発生した。情報の伝達、一人暮らし老人など災害弱者の支援、被害の軽減策などについて伺う。</p> <p>(2) 消防の指令業務 現在の状況、共同運用、広域化</p>

	質 問 者 (質 問 日)	要 旨
		<p>(3) 広域化の検討 東三河広域消防検討委員会が設置された。消防広域化の検討は「徹底した情報公開・市民参画」でと3月議会で確認されている。内容、今後の予定などについて伺う。</p> <p>2 保育園の民営化</p> <p>(1) みどり保育園について</p> <p>ア 園長が退職し4人の子どもが転園と聞く。その理由、市の受け止めと対応</p> <p>イ 保護者の声など現状把握と市の対応</p> <p>ウ 保育体制と園長がいない間の園の運営や保育への支援</p> <p>エ 覚書が守られているかどうか、どう判断するのか。</p> <p>(2) 鹿島保育園について</p> <p>ア 保護者の声と市の対応</p> <p>(3) 民営化とは 安上がり保育のために民営化を進めれば、市は保育に対して責任が持てなくなってしまう。保育の質を高め続ける考えについて伺う。</p> <p>3 漁業振興</p> <p>(1) 燃油高騰による漁業の危機的状況を訴え、全国で一斉休漁が行われた。蒲郡の現状、漁業関係者の声を伺う。</p> <p>(2) 国の緊急対策の内容と蒲郡への効果</p> <p>(3) 今、取り組んでいる振興策に加え、原油高に対する市独自の支援策を求める。</p> <p>(4) 燃油の直接補てんや投機マネーの規制を国に求める考えについて</p> <p>(5) 設楽ダムが三河湾や漁業に与える影響をどう把握しているのか？ 漁業者の声はどうか？</p>
11	新 実 祥 悟 (9月10日(水))	<p>1 男女共同参画について</p> <p>(1) 保育園での取り組みについて</p> <p>(2) 小中学校での取り組みについて</p> <p>(3) 蒲都市の取り組みについて</p>

	質問者 (質問日)	要 旨
		<ul style="list-style-type: none"> <li>(4) 地域の取り組みについて</li> <li>(5) 個人(家庭)の取り組みについて</li> <li>2 蒲郡市の将来像(まちづくりについて)</li> <li>(1) 教育学園都市</li> <li>(2) ベッドタウン</li> <li>(3) 企業都市</li> <li>(4) 農業・水産業振興都市</li> <li>(5) 観光都市</li> <li>(6) エンターテインメントシティー</li> <li>(7) 地方政府を視野に入れて</li> </ul>
12	伴 捷 文 (9月10日(水))	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 観光振興について</li> <li>(1) 観光蒲郡のイメージとキャッチフレーズについて</li> <li>(2) 基本的な総合計画について</li> <li>2 記録的な集中豪雨について</li> <li>(1) 豪雨による被害状況について</li> <li>(2) 被災者への今後の浸水対策について</li> </ul>
13	荘 田 博 己 (9月10日(水))	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 8月29日の集中豪雨災害について</li> <li>(1) 被害の状況について</li> <li>(2) 市民からの主な通報と内容について</li> <li>(3) どのように対応したかについて</li> <li>(4) 消防・消防団・ボランティア・水道、土木などの企業との連携について</li> <li>(5) 反省点と、今後の災害対策の取り組みについて</li> <li>2 設楽ダム建設に伴う、水源地域(設楽町)対策(蒲郡市民の負担等)について</li> <li>(1) 水源地対策について</li> <li>(2) 山村都市交流拠点施設について</li> <li>(3) 設楽ダム対策基金について</li> <li>(4) 直接請求(住民投票条例の制定)について</li> </ul>

	質 問 者 (質 問 日)	要 旨
		3 蒲郡市の補助金行政について (1) 現状(イベント等)について (2) 今後の継続に問題あると認識している事業(イベント等)について (3) 補助事業の選択と集中について
14	大 場 康 議 (9月10日(水))	1 「第二次地球温暖化対策実行計画」について (1) 環境負荷活動量についての実績 (2) 今後の対応策 2 「原油高騰」について蒲郡市の対応 (1) 公用車の燃料について (2) A重油、灯油、軽油の使用について